

12) 外来日の待ち時間を利用した食事指導の試み (木戸病院)

山賀新一郎・栗林 恵子
須貝 裕 (木戸病院栄養科)
渡辺 知子・牧野美佐子 (同 看護部)
山本 至・矢田 省吾
浜 齊 (同 内科)
谷 長行 (新潟大学第一内科)

糖尿病の食事指導は外来での個別の食事指導を行う以前は、集団指導を中心に行ってきました。しかし今回実施したアンケート調査により集団指導のみを受講した人の食事療法に対する理解度という点では満足な結果が得られていません。これは集団指導では、個々の能力に応じて指導が行えないためと思われます。そこで、一つの試みとして外来日の診察までの待ち時間を利用して個別に栄養指導を行ってきましたが、今回の調査からこの食事指導を受講した人の理解度が、集団指導のみを受講した人に比べ向上しているが確認されました。今回の調査により食事指導は集団教育をあくまでも基礎知識を習得する場と位置づけ、その後、個々のケースに応じた個人指導が必要と考えます。両者の組み合わせが食事指導の効果の向上につながると考えられます。

13) 当院が行っている糖尿病患者に対する 調理実習・試食会について

古川 正子 (長岡赤十字病院栄養課)

昭和58年専門病棟における教育入院システム発足。昭和60年7月から主に外来患者を対象に4回で1クール(火・木)の糖尿病教室を行う。昭和61年4月から年3回、バイキング方式の試食会を行う。昭和59年4月から毎週水曜日に入院患者とその家族を含む昼食会を行う。昭和63年7月から調理実習に変更する。昭和63年8月に

2回小児糖尿病を対象に調理実習を行う。

〈試食会、調理実習、小児糖尿病の調理実習の方法と説明〉

〈まとめ〉バイキング方式の試食会での体験から多くの献立の中から患者が指示カロリーに合わせてバランス良く適量を摂る習慣を身につけさせるように、調理実習については、はかりを使って食品を計量したり、油や調味料の正しい使用量を経験させ、食生活に関心をもたせることに役立つと考えております。小児糖尿病の実習では、仲間作りや調理の楽しさを知ってもらえたらと思っております。

14) 糖尿病患者の夕食アンケート調査 (第2報)

梶井由美子・阿部 則子
樋口 和子・佐藤美代子
渡辺 栄吉・岩原由美子 (信楽園病院栄養科)
宇井 政彦・山田 幸男 (同 内科)

15) レストランや食堂で糖尿病食をメニューに加えてもらうために

—食堂業者に対するアンケート調査—

岩原由美子・阿部 則子
樋口 和子・佐藤美代子
梶井由美子・渡辺 栄吉 (信楽園病院栄養科)
熊谷 文子
宇井 政彦・山田 幸男 (同 内科)

II. 特別講演

「糖尿病研究の最近の話題—インクレチンを中心に—」

山形大学第三内科教授

佐々木 英夫 先生